



# The Star in the West

## 東京西ワイズメンズクラブ会報

THE SERVICE CLUB FOR THE YMCA

THEY'S MEN'S CLUB OF TOKYO-NISH(03)3 202-0342

c/o TOKYO YMCA YAMATE CENTER, 2-18-12 NISHWASEDA, SHINJUKU-KU, TOKYO 169-0051, JAPAN

- 国際会長主題 「より良い世界のために、共に」
- アジア会長主題 「大きなインパクトを起こそう」
- 東日本区理事主題 「ワイズの方向性を見極める」
- 「ユースエンパワーメントをYMCAと共に」
- あずさ部部長主題 「未来のために行動しよう」
- 東京西クラブ会長主題 「居心地の良いワイズライフを楽しもう」

### 2024年7月号

NO 574

あなたがたは、キリストを見たことがないのに愛し、今見なくても信じており、言葉では言い尽くせないすばらしい喜びに満ち溢れています。

ヘブライ人の手紙 1 1章 8節

### みんなでやればなんとかなる 神谷 幸男

今年は例年と少し様子の違う新年度を迎えた。

この数年、高齢による気力、知力、精神力、体力の低下を言い訳にしてクラブ運営から距離をおいていたが、人材不足も手伝って十数年ぶりに何回目かのクラブ会長に推挙され引き受けることとなったからである。

そこで日頃あまり手にしないHANDBOOKを開き国際憲法ガイドブック（訳文）、東日本区定款を一瞥した。あいまいな点や思い違いしていた点が正され、やはり“HANDBOOK”にしなければならぬと今更ながら思った。

今年は活動よりも心休まる例会を楽しもうと考えた。日頃の心配ごとや悩みごとから、仮にひとときでも解放されることがよいかな、と考えた。併せて人付き合いがうまくいかないとか貧困に

よって、また少し視野を拡げて戦火や自然災害で普通の日常生活が奪われた人々のことにも目を向けて支援することなども一緒に考えたいと思います。

共に楽しいクラブライフを目指して微力を尽くすつもりですので、ぜひ力を合わせて行きましょう。

**7月、8月は暑さ対策のためWHOはお休みです。**

**9月28日(土)は近代的なビル群を背景に、各種のコスモスが咲く浜離宮公園を訪ねます。お楽しみに！**



### クラブ役員

- 会長 神谷 幸男
- 副会長 本川 悦子
- 書記 村野 絢子
- 会計 篠原 文恵
- 担当主事 横山 弥利

6月の記録		ニコニコ	3,130円
在籍者数	11人	メネット	0人
(内功労会員)	1人	コメント	0人
出席者数	7人	ビジター	0人
メーカー	2人	ゲスト	2人
出席率	90%	出席者合計	9人
		クラブファンド	0円
		ファン্ড残高	114,715円
		ホテ校ファンド	4,500円
		ホテ校残高	9円
		WHO参加者	52人

## 7月合同例会のご案内

## 強調テーマ：キックオフ PR

連日の酷暑に、皆様いかがお過ごしですか。  
7月例会は盛り上がりのある例会にしようと東京武蔵野多摩クラブ、東京たんぽぽクラブとの3クラブ合同例会です。

例会へはZOOMでの参加もOKです（アドレスをお知らせしますのでお知らせください）

日時：7月18日(木) 18:30~20:30

会場：東京YMCA山手コミュニティーセンター  
303号室

新宿区西早稲田 2-18-12 03-3202-0321

担当：A班（石井、篠原、本川、村野繁、吉田）

## HAPPY BIRTHDAY

16日 河原崎和美

（古いロースターによれば他の2クラブには該当者がいないようです）

受付 篠原文恵・藤江喜美子  
司会 本川 悦子

開会点鐘 東京西クラブ会長・神谷 幸男  
ワイズソングとワイズの信条 一 同  
開会あいさつ 神谷 幸男  
ゲスト・ビジター紹介 3クラブ会長  
聖書朗読・祈り 村野 絢子  
クラブ役員合同就任式 司式 あずさ部部长  
転入会式 司式 あずさ部部长  
あずさ部部长あいさつ  
ピーター・マウントフォードあずさ部部长  
会食 一 同

卓話 ピーター・マウントフォードさん

ハッピーバースデー 3クラブ会長  
ニコニコ 一 同  
ワイズ報告 3クラブ会長  
YMCA報告 3クラブ担当主事  
閉会点鐘 東京武蔵野多摩クラブ会長・渡辺大輔

## —6月事務会報告—

日時：6月27日(木)

16時30分~18時

会場：阿佐谷地域区民センター

出席者：石井、大野、神谷、河原崎、篠原、本川、村野

<報告事項>

## ①会計報告：

別紙報告書で承認された。

## ②2024-2025年度東京西ワイズメンズクラブ総会資料（改訂版）が配られた。

## ③各集会参加記録

◎第27回東日本区大会（十勝）

6月1日（土）

特記事項：吉田明弘さんが奈良傳賞を受賞した。

参加者：神谷、篠原、高嶋、村野

DBC交流会（大会終了後）

参加者：神谷、高嶋、村野

## ④村野繁さん（東京世田谷クラブ）が7月1日付で転入会される。

<協議事項>

## ①クラブ総会の追加審議（総会審

議において資料不備のため本事務会で審議することとなった）

総会資料添付別紙Ⅱ（2024-2025年度会計予算案）について審議し、原案承認可決した。

## ②村野繁さん入会確実に反映させて担当部分を修正し、承認可決した。

修正版を7月例会時に全員に配布する。

## ③7月合同例会について：

未確認事項について早急に3クラブで協議決定する旨の口頭説明を受けて承認した。

<その他>

## ◎あずさ部第1回評議会の件

日時：2024年7月27日（土）

13:00~17:00

会場：あがたの森公民館  
（松本市）

会費：2,000円

出席予定者：神谷、篠原、本川  
村野さんは欠席（委任状は神谷から所定用紙にて連

絡する）

## ◎会計監査の日程

7月25日（木）16:30から阿佐谷地域区民センターにて行う。

（書記代理・神谷幸男）

## 会計からのお願い

前期分の会費を例会に持参か、振込でお願い致します。

## 振込先

みずほ銀行方南町支店

普通口座 8027928

東京西ワイズメンズクラブ





ホテル学校留学生を囲んで6月例会出席メンバーの皆さん  
クエンさんは、日本語学校で1年学び、ホテル学校の1年余で、日本語を流ちょうに話されました



### —6月例会報告—

6月20日、2023-2024年度の最後の例会となりました。メンバーの出席が7人と少なく寂しい例会でしたが、いつものように始められました。

今月は国際ホテル学校の留学生に奨学金の授与式が行われ、ベトナム出身のチャン・ラン・クエンさんが授与されました。授与式後クエンさんのお話を伺うことが出来ました。

残念ながら会場の都合で事前にプロジェクターなどが準備できず、クエンさんが用意された映像は使えませんでした。持参のタブレットを皆さんに見せて歩きながらベトナムでの生活と留学生活の現状を丁寧にお話しいただき、楽しいひと時でした。

クエンさんはホテル学校卒業後、ヒルトン沖縄瀬底リゾートに就職が内定されたそうです。そしてクエンさんと一緒に第3の糧をいただき、クエンさんは退席され、今後何かとお手伝いしてくれるホテル学校担任の波々壁賢さんが残ってクラブの様子を見ていただくことになりました。

その後クラブ総会を開催し1年のクラブ活動を締めくくりました。

出席者：石井・大野・神谷・篠原・高嶋・本川・横山、<ゲスト>チャン・ラン・クエン、波々壁賢（ホテル学校）  
（大野貞次）

### —6月WHO報告—名橋日本橋を中心とした新しい街づくり



澁澤栄一像の前で記念撮影

6月22日は、前日の大雨、翌日の梅雨入りの隙間の快晴で、30度を超える暑さの中、52人が参加されました。

「水分補給」、「日かげ」、「説明は手短かに」を念頭に出発。日本橋三越、三井本館、日本銀行本店と重要文化財の森を抜けて、常盤橋を渡り常盤橋公園にて新1万円札モデル澁澤栄一像の前で記念撮影しました。

そこは首都高速の「日本橋区間地下化事業（2040年完成予定）」のトンネル開削開始予定現場です。また隣接する再開発エリアTOKYO TOACHでは地上390m巨大高層ビルの建設現場など見ど

ころ満載でした。

その後、日本橋川に沿って繰り広げられる再開発現場6エリアと、日本橋はじめ古き良き時代の橋や建物を見ながら、この地域の魅力と新時代に向けた活力を感じました。

次回は、9月28日（土）、浜離宮にコスモスを見に行きましょう。  
ワイズ参加者：石井（東京西）、中澤・藤江（東京たんぼぼ）、樋口（東京グリーン）

（WHO事務局）

## 82歳! えっ? ひとりでカナダへ!

村野絢子

2024年6月13日、1年間一緒に暮らしたことのある孫、理佐のウィニペグ大学の卒業セレモニーに参加した。

セレモニーの話を聞いて長女も行こうと思ったらしいが、「自分が行くといろいろ気になって楽しめないから、1人で行ったら」という、よかった! 1人旅だ。

早速4月6日、吉祥寺のJTBでチケットを買った。「バンクーバー乗り換えウィニペグ」の往復代金約29万円を近くの銀行で引き出し、その場で払いこんで、その日を待った。

理佐の母である4女の百合はモーリシャスからドバイトロント経由でウィニペグに6月9日の昼に着く。私は成田からJALでバンクーバー、エア・カナダで9日の夕方時に着く予定。

ところがスーツケースはウィニペグに直行のはずが「バンクーバーで受け取って、もう1度荷物

検査をして乗って下さい」という。

広い広いバンクーバー空港の荷物の受け取り場所にやっと着くと、確かに私のスーツケースと他の2~3個がグルグル回っている。どうして? と聞くと「会社が違うから荷物だけ直行にはならない」、今までその様なことは無かった。「次のフライトは4時間後、ウィニペグ着は夜中の2時になるから、迎えの人に連絡してください」という。

理佐に電話すると「OK、トムと迎えに行くから、心配しないで」と明るい声。真夜中の町をタクシーで。懐かしい孫の理佐とボーイフレンドのサムと3人、彼らの住むアパートに到着した。百合もアクシデントで翌日到着した、

13日の卒業セレモニーは大学内の広いホールのまわりを卒業生の家族や友人達で埋め尽くされた中で行われ、サムのご両親も参加。

ネイティブの人達の太鼓に合わせて、教授たちの入場。続いてピアノの曲に合わせて500人近くの卒業生がガウンと房付きの角帽姿で入場。学長の式辞のあと、500人

が1人1人の卒業証書授与と撮影を大画面で見るのが、延々と流れるように続いた。

最後に最優秀の女子卒業生がスピーチをした。私には聞き取れなかったが、ユーモアのある長い話で笑い声が何度も聞こえた。

終了後、庭でバンド演奏の中、ガウンを脱いだ卒業生を囲んで、寛いで、あちこちで賑やかに記念撮影をした。

理佐の親友のインド人のお母さんは私の年を聞くと「私も両親を連れてくればよかった」と呟いていた。「皆に反対された」とは言わなかった。



## YMCA Today

■ホテル学校は7月8日に一学期が終了。4月から始まった新しい学校生活にも徐々に慣れ、毎日のスーツ登校も様になってきました。先日は球技大会を行い、授業とは違うヒーローが出たり、クラス対抗戦で楽しく汗をかきチームワークも芽生えたりと頼もしい限りです。

そして夏休みになると始まる希望制のリゾートホテル実習には約7割の学生が参加します。軽井沢、箱根、伊豆、沖縄は本島以外にも瀬底島のホテルでも行い、最近希望者が多い京都のホテルを含めた全21のホテルで実施。

親元を離れ毎日の家事など生活面でも自立をし、成長が多い実習となるはずですが。様々な活動の中

でそれぞれが成長する姿がこれからも楽しみです。引き続きしっかりサポートしてきたいと思えます。

■内閣府から日本YMCA同盟が要請を受けて実施した石川県輪島市町野町の避難所運営支援は、6月末で終了。1月24日~3月末までは東京YMCAがスタッフを派遣し、その後は富山YMCAを中心に全国YMCAが協力して支援活動を行いました。

今後も全国YMCAが協力し、町野町の子どもたちを対象としたレクリエーションやキャンプ等を通じて、能登半島地震の被災地支援を継続していきます。

■全国のYMCAでは40年余りにわたり水上安全教育に取り組んでいます。その一環として今年度も6月に「ウォーターセーフテ

ィーデー」を一斉に実施。

東京YMCAでは東陽町センターと山手センターで6月16日に、ウェルネスガーデン品川御殿山では6月30日に、幼児・小学生の親子を対象に、着衣泳体験や心肺蘇生法を学ぶプログラムを開催。

水上安全の知識を子ども向けに紹介している「ウォーターセーフティハンドブック」を近隣の小学校、幼稚園、保育園等に計約2万冊を無料配布しました(東京YMCAのHPからもダウンロード可)。

担当主事・横山弥利

## 編集後記

新しい年度になりましたね、この暑さに負けず頑張りましょう。皆様の寄稿感謝いたします。この1年皆様の協力をお願いいたします。(T.O)